

2023年度第4四半期の貯金残高について

2024年6月3日



1 2023年度第4四半期の貯金残高について

- 2024年3月末の「個人貯金等」は2023年3月比で0.9兆円減少の188.4兆円(2022年度は0.6兆円の増加)(A)
- 貯金種類ごとに見ると、
 - ア 定期性貯金については、減少傾向が継続 (B)
 - イ 流動性貯金である通常貯金については、定期性からの振替預入資金の滞留等により、増加傾向が継続しているものの、コロナ後のリベンジ消費等により、増加規模は縮小 (C)

注 「個人貯金等」とは、貯金残高から、法人等の決済性預金（＝振替貯金（一般））、大口定期、その他貯金を除いたもの

(単位：兆円)

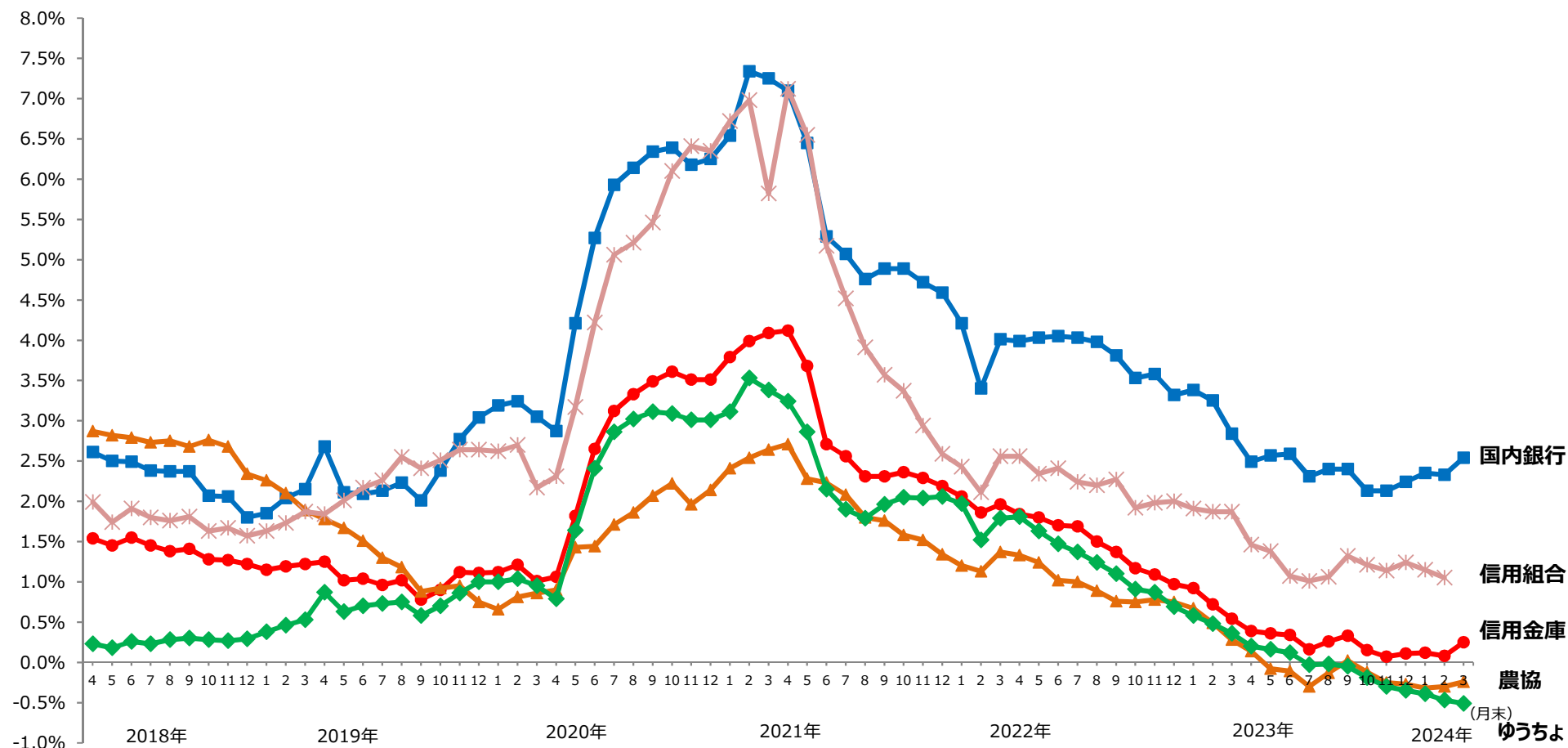
	①2023年3月末	②2024年3月末	増減 (②－①)	2022年度 同期の増減	2021年度 同期の増減
貯金残高	193.6	191.8	▲1.8	0.2	3.8
個人貯金等	189.3	188.4	Ⓐ ▲0.9	0.6	3.3
通常貯金	106.9	111.6	Ⓒ 4.7	5.3	9.3
定額貯金	71.9	64.7	▲7.1	▲4.7	▲6.7
定期貯金 大口定期 除く	3.3	3.5	Ⓑ 0.2	▲1.0	▲0.3
振替貯金（総合）	7.2	8.4	1.1	1.1	1.1
法人貯金等	4.1	3.3	▲0.8	▲0.3	0.4
振替貯金（一般）	4.1	3.3	▲0.8	▲0.3	0.4
大口定期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0

- ※ 貯金残高には未払利子を含まない
 ※ ゆうちょ銀行株式売り出しに伴うグループ会社の貯金等の特殊要因を除く
 ※ 大口定期は、預入限度額適用除外法人等及びグループ会社による 1,000万円以上の定期貯金

2 業態別の預貯金残高（対前年増減率）について

○ ゆうちょ銀行の「個人貯金等※¹」の伸び率は、業界の中でも相対的に低位で推移。

業態別預貯金の増減率（前年同月比）の推移



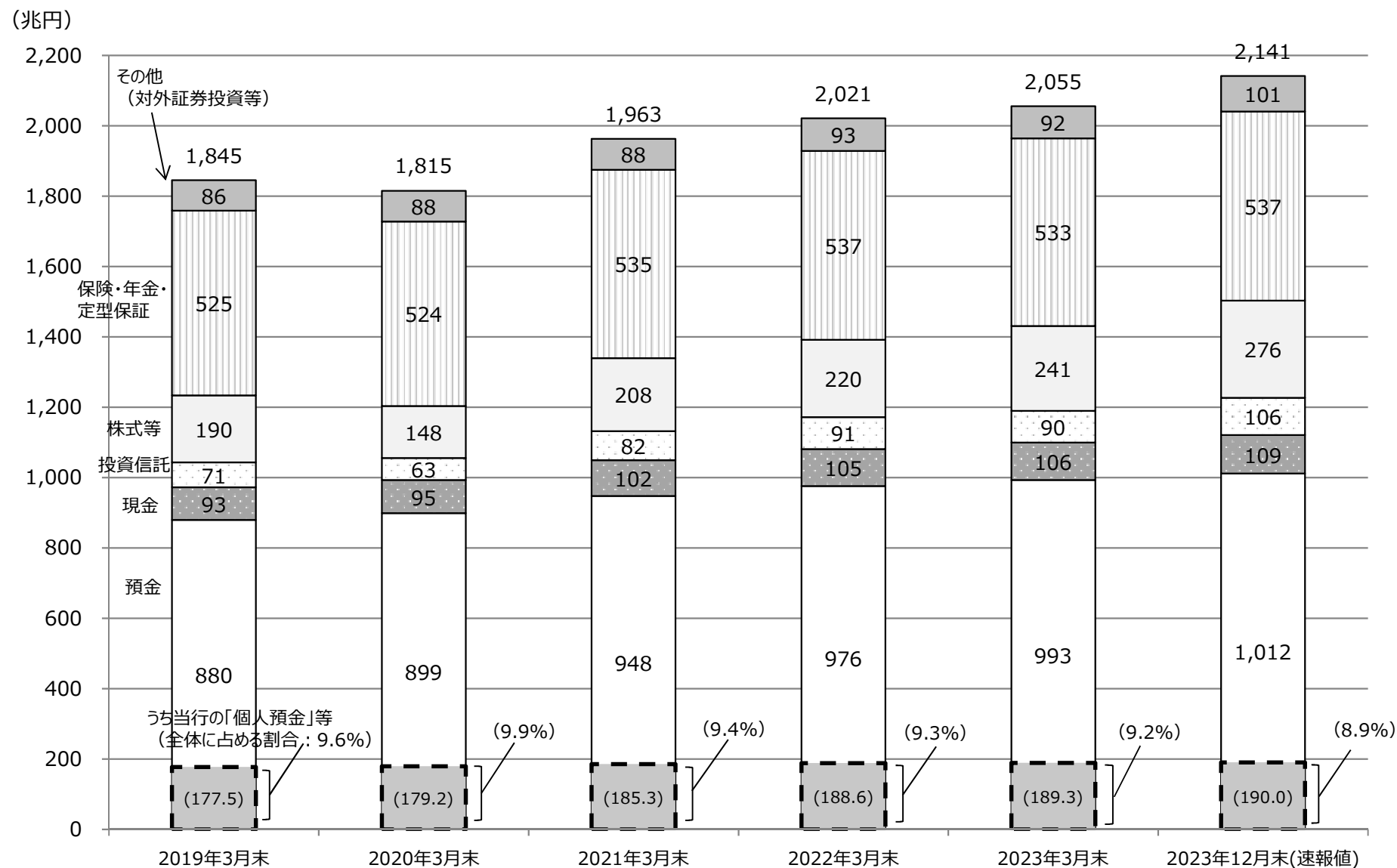
※1 ゆうちょは大口定期、一般振替貯金、その他貯金は含まない（＝「個人貯金等」のベース）

※2 農協・信用組合は法人貯金含む

※3 国内銀行（都市銀行、地方銀行、信託銀行）・信用金庫は個人預金（出所）日本銀行「預金・貸出関連統計」

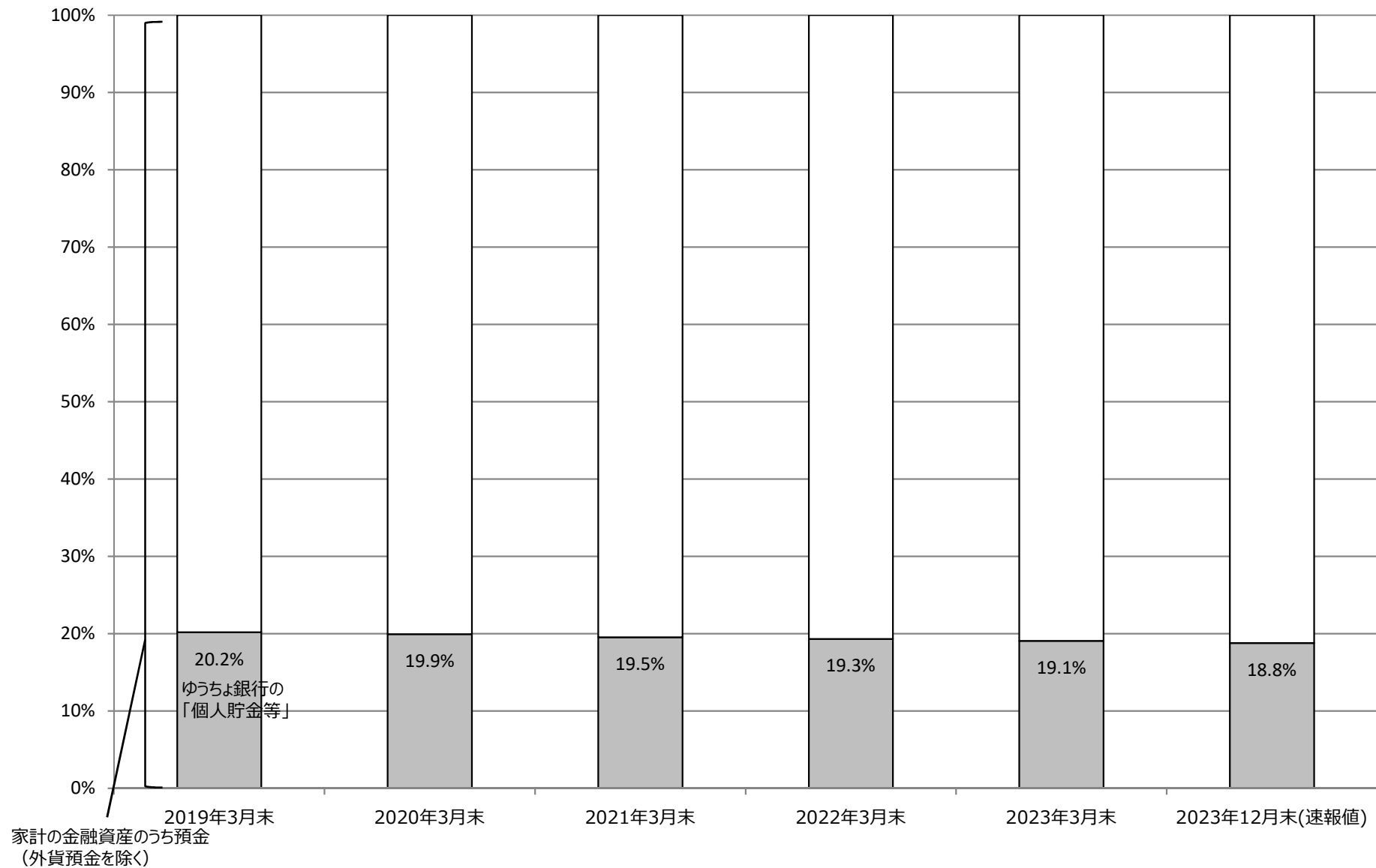
※4 ゆうちょ残高に元加利子は含まない

<参考 1>「家計の金融資産」に占める当行の貯金の割合



- ※ 家計の金融資産残高は、日銀資金循環統計から作成。2023年12月末の値は速報値。
- ※ 預金は、「流動性預金」+「定期性預金」の合計金額。「外貨預金」については、「その他」に含めている。
- ※ 資産額について単位未満は切り捨てて表示。

＜参考 2＞ 家計部門の「預金」に占める当行の貯金の割合



※ 日本銀行「資金循環統計」における家計の金融資産のうち、「流動性預金」及び「定期性預金」の合計金額を分母とし、ゆうちょ銀行の「個人預金等」残高を分子とした割合

※ 2023年12月末の資金循環統計は速報値